



第7章

検討委員会名簿

【委員】

委員長	静岡文化芸術大学副学長	上野 征洋
副委員長	豊橋商工会議所専務理事兼事務局長	星野 君夫
副委員長	飯田市企画部長	尾曾 幹男
	豊橋技術科学大学地域協働まちづくりリサーチセンター長	大貝 彰
	飯田市歴史研究所顧問研究員 一橋大学大学院教授	森 武麿
	愛知大学三遠南信地域連携センター長	佐藤 元彦
	浜松商工会議所専務理事	坂本 豁
	天竜商工会事務局長	畑中 敏男
	新城市商工会事務局長	森川 重郎
	飯田商工会議所専務理事	尾澤 敏秀
	長野県商工会連合会南信支所長	佐々木 信高
	浜松市企画部長	齋藤 慎五
	磐田市企画財政部長	深澤 秀太郎
	豊橋市企画部長	堀内 一孝
	新城市企画部長	鈴木 久雄
	南信州広域連合事務局長	渡邊 嘉蔵
	NPO 法人三遠南信アミ	三宅 淳子
	NPO 法人がんばらまいか佐久間顧問	小原 侃之輔
	NPO 法人地域づくりサポートネット代表理事	田中 孝治
	NPO 法人穂の国森づくりの会事務局長	森田 実
	さくら WAVE 代表	田村 太一
	NPO 法人ふるさと南信州緑の基金事務局	三浦 方也
	南信州アルプスフォーラム	沖村 賢司

(平成 20 年 3 月現在)

【オブザーバー】

国土交通省中部地方整備局企画部広域計画課長
国土交通省中部運輸局企画観光部計画調整官
国土交通省北陸信越運輸局企画観光部交通企画課長

経済産業省関東経済産業局地域経済部地域振興課長
経済産業省中部経済産業局地域経済部地域振興課長

農林水産省関東農政局農村計画部農村振興課長
農林水産省東海農政局農村計画部農村振興課長

林野庁関東森林管理局天竜森林管理署長
林野庁中部森林管理局企画調整室企画官

国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長
国土交通省中部地方整備局東海幹線道路調査事務所長
国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所長
国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所長
国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所長
国土交通省中部地方整備局設楽ダム工事事務所長
国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長
国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所長

静岡県企画部企画監（地域政策担当）
静岡県建設部道路企画室長

愛知県地域振興部地域政策課長
愛知県建設部道路建設課長

長野県企画局企画課長
長野県土木部道路建設課長



年	内容
昭和 26 年	国土総合開発法による「天竜・東三河特定地域」に指定
昭和 27 年	「天竜・東三河特定地域総合開発計画」を策定
昭和 38 年	豊橋・浜松二眼レフ経済圏提案
昭和 47 年	三県知事会議で「三遠南信自動車道」の建設促進を決定
昭和 51 年	天竜奥三河地域総合調査 県境三圏域交流懇談会の発足
昭和 59 年	三遠南信自動車道建設促進期成同盟会の設立
昭和 60 年	三遠南信トライアングル構想を発表
昭和 62 年	三遠南信自動車道が四全総の高規格幹線道路網計画に位置付けられる
昭和 63 年	山岳ハイテクタウン構想提案 東三河 2015 構想提案
平成元年	三遠南信正副議長協議会の発足
平成 3 年	三遠南信地域整備計画調査委員会発足 三遠南信地域経済開発懇談会の発足
平成 4 年	三遠信伊勢地域開発合同会議の開催 三遠信山岳都市研究会の発足 山岳高原新都市開発構想を提唱
平成 5 年	愛知県東三河地方拠点都市地域の指定 長野県飯伊地方拠点都市地域の指定 三遠南信地域整備計画調査結果の公表 三遠広域200万都市圏構想発表
平成 6 年	第 1 回三遠南信サミットの開催 三遠南信自動車道矢筈トンネル・草木トンネルの開通 三遠南信地域整備連絡会議の発足 静岡県西部地方拠点都市地域の指定
平成 7 年	「三遠南信新首都構想」発表
平成 8 年	三遠南信地域交流ネットワーク会議の設立 第 1 回三遠南信教育サミットの開催
平成 9 年	三遠南信地域交流ネットワーク推進計画(三遠南信地域交流ネットワーク会議) 三遠南信地域経済開発協議会の設立 ゆめまるごと語ろう会(ゆめまる)発足
平成 17 年	三遠南信自動車道早期開通期成同盟会(三遠南信地域経済開発協議会)の設立 第 13 回三遠南信サミットにおいて「地域住民セッション」始まる
平成 18 年	第 14 回三遠南信サミットにおいて「道州制において三遠南信地域は同じ区割りになること」を決議 三遠南信地域連携ビジョン検討委員会始まる
平成 19 年	第 15 回三遠南信サミットにおいて三遠南信地域連携ビジョンを合意



	面積 (k m ²)	人口 (人)	農業産出額 (百万円)	製造品出荷額等 (百万円)	年間商品販売額 (百万円)	
東 三 河	豊橋市	261.36	372,479	47,380	1,173,899	1,198,207
	豊川市	150.43	159,563	17,400	1,090,648	320,280
	蒲郡市	56.81	82,108	7,510	216,983	177,703
	新城市	499.00	52,178	6,420	252,856	49,414
	田原市	188.58	66,390	72,440	2,002,948	101,502
	設楽町	273.96	6,306	3,210	6,279	3,830
	東栄町	123.40	4,347	510	2,548	3,330
	豊根村	155.91	1,517	110	781	656
	小坂井町	9.92	21,881	1,850	80,455	29,606
遠 州	浜松市	1,511.17	804,032	54,050	2,753,302	2,772,638
	磐田市	164.08	170,899	13,710	2,067,900	248,397
	袋井市	108.56	82,991	11,370	487,780	220,961
	湖西市	55.08	44,057	6,110	1,330,595	40,829
	森町	133.84	20,273	3,830	120,270	21,327
	新居町	13.47	16,937	910	41,119	17,025
	掛川市	265.63	117,857	20,360	1,446,915	232,125
	菊川市	94.24	47,502	10,690	258,488	63,395
	御前崎市	65.85	35,272	7,280	96,951	42,807
南 信 州	飯田市	658.76	108,624	9,460	261,719	267,874
	松川町	72.90	14,117	3,000	27,659	16,548
	高森町	45.26	12,976	2,910	24,539	26,257
	阿南町	123.35	5,972	620	6,266	3,585
	清内路村	44.16	777	20	X	449
	阿智村	170.31	6,771	920	16,035	4,852
	平谷村	77.40	688	90	X	441
	根羽村	89.95	1,253	170	1,263	793
	下條村	37.66	4,210	1,420	9,711	2,542
	売木村	43.55	735	110	333	302
	天龍村	109.53	2,002	110	234	605
	泰阜村	64.54	2,062	210	1,086	465
	喬木村	66.62	6,912	2,020	4,670	8,558
豊丘村	76.85	7,068	1,880	12,103	4,465	
大鹿村	248.35	1,356	280	1,056	450	
三遠南信地域全体	6,060.48	2,282,112	308,360	13,797,391	5,882,218	

※製造品出荷額等の数値は、従業者4人以上の製造事業所が対象。三遠南信地域全体の数値は、秘匿値を含まない。

出典：面積（平成17年全国都道府県市区町村別面積調）

人口（平成17年国勢調査）

農業産出額（平成18年生産農業所得統計）

製造品出荷額等（平成17年工業統計）

年間商品販売額（平成16年商業統計）



インターブロック (P7)

圏域間交流の新たな展開を誘導するため、既存のブロックを越えた各種の交流を促し、地域の活性化をもたらす広域的な交流圏のことを指す。

イノベーション (P13)

日本語では、技術革新、新機軸を意味する。モノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、経済社会に大きなインパクトを与えることを指す。

ゲートウェイ (P17)

日本語では、門口、出入口、手段を意味し、ここでは交流や物流に関する地域の拠点となる港湾、空港を指す。

地域アイデンティティ (P22)

地域の独自性、主体性等を指し、他の地域とは異なる地域の特性や個性。地域のアイデンティティの確立とは、自らの地域はどのような地域かを認識し、どのように発展させたいかという自己変革の目標によってつくられる。

アクセシビリティ (P31)

英語 accessible 「(容易に) 接近できる、利用可能な、入手可能な」の名詞形で、利便性を意味し、ある場所や施設への移動等についての容易度を指す。

プラットホーム (P4 / P35)

鉄道駅にある列車へ乗り降りするための台状の場所を示すが、ここではその意味を拡大解釈し、様々な機能・インフラをつなぎ合わせ、サービスや事業活動等の促進を図るための共通基盤（基本部分）を指す。

セカンドスクール (P38)

小・中学生を対象として、授業の一部を自然に恵まれた場所に概ね1週間滞在する長期宿泊体験学習のこと。普段の学校生活（ファーストスクール）では体験し難い自然体験、農林漁業体験、共同生活体験などの多様な体験学習活動を通して、都市と農山村の交流を進めながら、学校教育の目標をより効果的に達成しようとするものである。

ポータルサイト (P38)

ポータルとは、Port（港）から派生した言葉で、門や入口を表し、インターネットの入り口となるサイトを指す。ウェブ、検索エンジン、リンク集を核として、多種多様な情報の提供、ブラウザから利用できるメールサービス、電子掲示板など、利用者がインターネットで必要とする機能を有するサイトである。

ソーシャルワーカー (P39)

精神的・肉体的・社会的な面で何らかの問題を抱えた人の相談相手となって、その人を指導し、その問題解決を行う人のこと。社会福祉学を基に社会福祉援助技術を用いて社会的に支援を必要とする人とその環境に働きかける専門職で、従来、主として社会福祉事業に携わる人の総称として使用されてきたが「社会福祉士及び介護福祉士法」の制定により、現在では社会福祉士を指し示す場合が多い。

スマートインター (P42)

スマートインターチェンジ (smart interchange、スマート IC) の略語で、ETC技術を活用した自動料金収受方式により、料金所の無人化、分散化を可能としたインターチェンジである。これによりインターチェンジの建設費・管理費のコストが縮減され、追加インターチェンジ等の整備が容易となりインターチェンジ周辺の地域活性化に貢献している。

産業クラスター (P45)

クラスターとはブドウの房を意味し、群や集団を指す。産業クラスターとは、産業集積を構成する機関間に、産学連携および企業間連携からなる多様な技術や知識のネットワークが形成され、イノベーションが生み出される状況をいう。